

職人の町の名匠

新シリーズ 第1回目

南通り 工藤 榮次さん

あなたの職業は？
左官業です。15歳のころからやっています。
どうやって職人に？
父や兄も左官業をやっていて、父の勧めで18歳の時「東京都高等左官職業訓練校」に3年間通学し、その後東京都小平市にある「職業訓練大学校建築課左官部」で2年間学びました。
どうして大石田で？
兄が東京で起業したため、弟の自分が昭和

「職人の町・大石田」は永年築きあげたブランド。このページではその職人さんを紹介していきます。



- 年齢 72歳
- 家族構成 妻と猫（はなこ）
- クロスカルチャープラザに展示されている鍍絵作者「後藤市蔵」の甥にあたる。
- 後藤市蔵 - 银山温泉旅館「木戸佐左衛門」の戸袋制作者



いつでも鍍絵を見に来てください！

大石田町駅前通り5-2
TEL 0237-35-2877

今後の抱負は？
45年に東京から帰郷し、家業を継ぎました。
後継者について
町は職人の町なので、伝統的文化の鍍絵については今後も継承していつてほしいものです。

職人は定年がないので、身体が健康な限り左官業を続けていきたいと思えます。これからは鍍絵の制作にも力を入れていきたいと思っています。
後継者について
左官や鍍絵についても興味のある人にはいつでも教えたい。大石田町は職人の町なので、伝統的文化の鍍絵については今後も継承していつてほしいものです。

議会を傍聴しませんか

◇次回の定例会は

9月4日(火)～14日(金)の予定です。

お気軽においでください。(議場は役場3階です)

お問い合わせ先

大石田町議会事務局
電話 35-2111 (内線312) FAX 35-2118

表紙の写真

7月14日(土)に行われた、ふたば子ども夏祭りの時の様子です。
この日も暑い一日でしたが、多くの来場者で賑わいました。写真の女の子も浴衣を着て涼しそうでした。
ドジョウ、取ってもらえたかな？

編集後記

町民交流センター「虹のプラザ」がオープンしてから交流人口が右肩上がりが増えていく。
工事期間中は、毎日50人近い工事関係者が従事し、週末には家族を連れて大石田のうまいものを求めて来町した。国道347号の通年通行で宮城ナンバーの車両が目立つて多くなり、東北中央道大石田村山ICの開通後は、福島ナンバーもちらほら見られるようになった。
银山と肘折の温泉誘客が好調なおかげで、わが町を通る人が増えたこともあり、そばと団子は、大石田の代名詞となりつつある。【記 芳賀】

広報常任委員会

委員長 村形 昌一
副委員長 遠藤 宏司
委員 岡崎 英和
委員 小玉 勇
委員 芳賀 清